

第5回女性研究者情報交換会を、9月7日(水)の昼食時にFu's カフェで開催しました。今回は、関心のあるテーマで情報交換をおこなうために、「子育て」と「介護」のテーブルを分けました。今回の参加者の人数は12名でしたが、テーマ別のテーブル設定は好評で、有意義な情報交換会となりました。



育児のテーブルでは、子育て中の当事者同士が、仕事と育児の両立の中で体験した苦労や現時点で直面している課題をざくばらんに語り共感しあう場になりました。睡眠不足で大変なことや、親類や実家などからのサポート、離乳食や保育園への入園時期、そして仕事と育児を両立する意義などが話題となりました。

介護のテーブルでも、日常生活の中で直面している困難が話題となりました。介護は、運動や認知機能が減退し、社会との関わりも減少していく過程に寄り添うことから、子育てとは逆に介護者の負担と心労は歳月の経過と共に増えます。介護の負担が増加していく状況を考えるだけでも、しばしば大きなストレスになるとのことでした。介護に携わる当事者同士がお互いにアドバイスをおこなえる機会や困難を共感し合う環境が職場にも必要なかもしれません。

この度の情報交換会を通して、育児や介護などのライフイベントを乗り越えるためには、ワークとライフが適度なバランスにある職場環境への改善が、より一層、推し進められる必要性を実感しました。また、この情報交換会の中で、本学の福利厚生の制度やその制度を活用するための手続きが十分に周知されていないことがあらためて浮き彫りになりました。

【感想及びアンケート結果】

1. 今回のテーマ「ざくばらんに語りあいましょう ワークとライフの適度なバランスのための課題

～「子育て」、「介護」、「教育・研究活動」における大学環境の課題～」に関して

- 休日出勤を減らす工夫をしてほしい。
- 育休をとった人に時短制度が適応されないことがありました。
- 介護のための時短・早退ができるとよい（裁量労働の場合はどうなるのか不明）
- 出た話しをまとめてしかるべき筋に届けていただきたい。

2. 次回の情報交換会で取り上げてほしい問題やテーマ

- 休暇について（子が病気の際など）
- 休日出勤をどうのりきるか
- 働き方、大学行事への参加、行事そのものの検討 ○研究環境について

3. その他

- 健康増進法にかんがみ、受動喫煙が野放しになっている現状は改善すべきではないでしょうか。
- 子育てについて、先輩方の色々なアドバイスが聞けて今後の参考になりました
- 子育てと仕事を両立しておられる先生の話が聞けてとても参考になりました。
- 参加されている方々のプライベートのすべてを知る必要はありませんが、少し雑談をすることで話やすくなり悩みなど話せると感じました。
- もっと多くの教職員に参加してほしい。